

会長に稲本義範氏就任

工業会日本方引防止システム協会



稲本会長

工業会・日本方引防止システム協会（JEAAS、稲本義範会長）は6日、東京都千代田区にある主婦会館プラザエフで令和元年度通

常総会等を開催、総務委員の内藤正美氏の司会で行った。総会、記念講演等合わせ正会員、賛助会員、特別会員、関係者等130人が出席した。

通業総会は、出席正会員25社、委任状5社。総会冒頭、あいさつに立った稲本会長代行（承認後、会長へ）は「日本方引防止システム協会は2011年にEAS（電子的商品監視）機器だけではなく、その他のソリューションの方々に入会していただくべく方引防止の総合的なソリューション団体を目指すと

して設立。そして2016年6月2日にJEAAS新活動宣言を発表。その中で『お客様に足元を固めてき出、その中で『お客様を購入することで、お客様は来店にはない。お客様は来店にEAS（電子的商品監視）機器だけではなく、安全・安心・快適な環境のお店を作ること』と我々のミッションと定義付けさせた。

2018年9月1日にEAS、防犯カメラ等で日本唯一の工業会として認められた。これは諸先輩方の積み重ねた御努力の成果と考える。そして現在、正会員、賛助会員、特別会員合わせ40社の団体となり、着実に足元を固めてきた。当工業会は方引防止・撲滅を目指す唯一のソリューション団体である」と強調した。

議事に入り議長は稲本会長代行が指名され議長席に着くと、第1号議案の平成30年度事業報告、収支決算の件

について田丸典徳事務局長が説明した。昨年度の事業内容のポイントとして①生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明書発行（A類型）工業会活動②方引防止システムの基礎知識習得、アップデートのための研究や情報発信を行う③映像データ活用に関する冊子作りやセキュリティショーなどで紹介する等を報告。

また各委員会活動報告が報告されたのちに平成30年度収支報告が行われ、監査法報告を伊藤和賢監事が報告した。

続いて第2号議案の会費変更の件が承認された後、第3号議案の令和元年度の組織、人事の件では会長に稲本義範氏、副会長に近江元氏、理事に雑賀真良氏、山本健一氏、松田栄治氏、顧問に井出尊信氏がそれぞれ選出され新任となった。

続いて第4号議案の事業報告と収支決算はそれぞれ承認され総会は閉会した。

その後、EAS機器の安全・安心への科学技術面の貢献として北海道大学大学院情報科学研究科情報通信システム学講座元教授で現

同大学名誉教授の野島俊雄先生へ感謝状が贈呈された。

その後、総務省総合通信基盤局電波部電波環境課の渡邊修宏課長補佐が「植込み型医療機器をより安心して使用するためにできること」をテーマに特別講演を行った。

第2部では記念講演として①（開）組織開発コ

ンサルティングの代表取締役の斎藤彰博氏が「個人と組織の創造学（3つの識（知識・見識・胆識）を持つには）」等、②（開）ベトナム執行役員流通技術研究所の重田憲司所長が「新たなリテールセキュリティ&ソリューションの構築への道」をそれぞれ講演した。

同大学名誉教授の野島俊雄先生へ感謝状が贈呈された。

その後、総務省総合通信基盤局電波部電波環境課の渡邊修宏課長補佐が「植込み型医療機器をより安心して使用するためにできること」をテーマに特別講演を行った。

第2部では記念講演として①（開）組織開発コ

ンサルティングの代表取締役の斎藤彰博氏が「個人と組織の創造学（3つの識（知識・見識・胆識）を持つには）」等、②（開）ベトナム執行役員流通技術研究所の重田憲司所長が「新たなリテールセキュリティ&ソリューションの構築への道」をそれぞれ講演した。

同大学名誉教授の野島俊雄先生へ感謝状が贈呈された。

その後、総務省総合通信基盤局電波部電波環境課の渡邊修宏課長補佐が「植込み型医療機器をより安心して使用するためにできること」をテーマに特別講演を行った。

第2部では記念講演として①（開）組織開発コ